

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

## 京都市地域特産物需要拡大センター「道の駅ウッディー京北」の運営について

当施設は、農林業が主幹産業である京北地域において、農林産物を始めとする地域特産物の需要を拡大し、地域の活性化を図る拠点施設として平成8年に設置されました。

平成22年4月には京都市初の道の駅となり、その機能を果す中、令和3年度は約29万人の方々に御利用いただきました。

### 当施設の収入と支出（令和3年度決算ベース）

総額 6,300 万円

<支出> 利用者1人当たりの運営経費 220円

運営費（人件費・光熱水費等）  
220円

<収入>

地域特産物の販売手数料や軽食喫茶の売り上げ等  
200円

市民の税金で負担  
（公費で負担）

差額 20円

（いずれも概数  
10円単位で四捨五入）

○施設の運営費は、地域特産物等の販売手数料や軽食喫茶の売り上げと公費負担（市民の皆様に納めていただく税金）により賅われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組（維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等）を進めてまいります。